

大きな百合の 木の下で



IBARAKI UNIVERSITY.
NEWS LETTER
THE THIRD NUMBER.
SPRING 2002

vol.3

茨城大学ニューズレター

特集

学生生活のサポート体制
大学の時間割



● 学生が語る《ゼミ・研究室紹介》
● 農学部一直線《マイ阿見キャンパスロード》

茨城大学の 学生生活サポート体制のご案内

茨城大学では、水戸、日立、阿見のどのキャンパスにおいても、学生の皆さんに、健康的で、楽しく、快適で、有意義な学園生活を送っていただけるよう、授業のみならず、教育実習、インターンシップ、就職活動、文化・スポーツのサークル活動等など、様々な面に十分な配慮を行っております。

とは、いつでも一体どんな配慮をしているのか、学生の皆さんのみならず、外部の方々にはお分かりにくいのではないかと思います。そこで今回は、学生生活のサポート体制の一部を、いくつかの側面からまとめてご紹介いたします。

自律的な大学生活を手助けする 担任制度について

以前から大学にも、高校と同じように一人ひとりの学生に対応する担任制度があります。当初は形式的なものでしたが、五、六年くらい前から、もっと実質的なものにしていくという努力が始まり、今もその努力が続いています。

大学へ入学された多くの皆さんにとって、大学生活はこれまでと随分違ったものになります。自由度は格段に大きくなり、全てについて自分で決め、自分で自律的に行動しなければなりません。勉強の仕方も同じです。担任制の充実は、このようなライフスタイルの違いに早く慣れて、大学生活をやり多いものにしてほしいという大学と先生の願いが込められています。

工学部（日立キャンパス）と農学部（阿見キャンパス）の学生は、一年次は水戸キャンパスで過ごします。両学部では、それぞれ主担任の先生と、副担任（緊急時に対応する水戸キャンパス）の先生とを設けています。

茨城大学に入学されたら、まず担任の先生と仲良くなってください。大学の先生はこわそうだと思われるかも知れませんが、ところが、実際に話してみると意外と思われるほど、親切でやさしいのです。

大学では自律的に勉強することが求められますが、気軽に担任の先生と話をすることは、皆さん一人ひとりの自律的な勉強の大きな助けになります。もちろん、悩みごとも、お友達とだけではなく担任の先生にも相談してみてください。学生の皆さんが、担任制を積極的に利用すれば、利用するほど、担任制を充実させることになります。いろいろ相談されると先生の方でも熱心にならざるを得ないです。

なんでも相談室

「どんなことでも気軽に相談ください」

なんでも相談室は、共通教育棟の一号館（東棟）一階にあり、なんでも相談室の文字通り、茨城大学の学生が抱えるどんな相談にも利用できます。相談員としては、相談内容に最適な大学職員（教官・事務官）があたります。

大学生活は、高校までとは大きく違って、戸惑うことが少なくありません。授業計画を自分で組み立てないといけないし、人間関係は、大学の友達だけでなくサークルやアルバイトなどで大きく広がります。親元を離れ下宿生活を始めた人は、家事の大変さと一人暮らしの寂しさを同時に味わうことになります。また、将来の進路（進学・留学・就職）、異性の友人のことや人間関係についてももっとも悩むのが大学時代です。

なんでも相談室は、こういった悩み多き大学生のために、平成十三年四月にオープンした新しいサポート体制です。今までに寄せられた相談件数は、四月から十二月までおよそ六五〇件。その内容は、「授業の履修の仕方について」「将来・進路が不安である」「転学部・転学科を考えている」「大学になじめない」「授業に興味がない」「無気力になってしまった」「奨学金について知りたい」「近所の治安が悪い」「詐欺の被害にあった」「実家の経済状態が悪くなり困っている」「大学を休学したい」など多種多様です。中にはすぐに解決とはゆかない問題もあります。しかし相談員と一緒に話し合い、考えてゆくうちに次第に道が拓けてゆくことも多いのです。なんでも相談室は、学生諸君の一人ひとりの学びや日常生活を応援しています。

なお、相談は、電話でもメールでも受け付けています。どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

（水戸地区）電話 029122818595

メール soudan@mcs.ibaraki.ac.jp



にこやかな対応で相談を受けています

保健管理センター

とくに、心理相談のご紹介

保健管理センターでは、学生の皆さんの疾病・傷害など身体的、肉体的な悩みだけでなく、精神面の相談について精神科医と臨床心理士が、相談を受付けています。

相談内容はさまざまで、例えば、次のようなものがあります。

・対人関係の悩み・性格や感情の問題・学業や進路上的な悩み・精神保健上の問題・過食や拒食・不眠・意欲喪失や無気力・身体の健康を害するストレスや悩み・家族や友人のこと・生きる意味や人生観についてなど。

誰でも入学から卒業するまでの間に、「一度や二度、「誰かに相談したい」と思うことがあるものです。そのようなとき、もう少し様子を見てから・・・と思いがちですが、早めに相談した方が問題の解決に早道であることが多いようです。

相談内容によっては、お薬を処方することもあります。悩みや相談したいことがある場合、是非気軽に保健管理センター（電話0291-22818082）までお越しください。

なお、相談は予約制となっています。急ぐ場合は、受付で相談してみてください。

担当 保健管理センター 精神科医（専任）内田千代子（月・木・金）

精神科医（非常勤）中島 潤子（火）

臨床心理士（非常勤）櫻井由美子（水・金）

学生就職支援センター

茨城大学では、平成十四年四月以降、学生就職支援センターを開設します。これまで学生部厚生課が行ってきた学生の就職支援業務を、より強力に推進するために、就職担当事務職員、各学部から選出された教官、専任教員2名により構成されます。

各学部が行ってきた学生の就職指導・支援に加え、全学的な立場から企画・業務推進を行い、一層強力な就職支援活動を展開します。

センターの主な業務は、学生の就職相談、就職ガイダンスの開催、就職情報の収集・提供、広報活動、就職先の開拓、職員に対する研修等です。

若さに輝く優秀な人材を求める企業、団体の方々も、どんどんセンターにご相談下さい。



豊かなキャンパスライフを創る生協

茨城大学生協は、大学で学び、働く人々が、大学生活を充実させるために協同でつくり、運営している組織です。現在、水戸・日立・阿見の3キャンパスで食堂事業、購買・書籍事業を行い、学生・教職員のキャンパスライフを支えています。日々の食生活を支える食堂では、単に食事を提供するだけでなく、メニュー毎に栄養バランス、カロリー表示を行い、利用者自らが栄養や健康を考えて食事ができるように工夫しています。

趣味や勉学の支えになる書籍部。授業で使う教科書や専門書はもちろん、文芸書や雑誌にいたるまで品揃えしており、生協組合員は割引で利用できます。また近年関心が高まっている各種資格取得のための通信教育やスクールの斡旋なども行っています。

学内コンビニの購買部では、文具や日用雑貨、パン・お弁当、飲料などを取り揃えているほか、サービスセンターではパソコンの販売、自動車教習所の斡旋、旅行の手配、CD（組合員15%引き）の販売など、学生生活に役立つさまざまなサービスを提供しています。

また、「一言カード」などで利用者の皆さんの声や要望に積極的に応えるのも生協の大きな特徴です。生協を上手に使うって貴重な大学生生活を豊かな、実りあるものにして欲しいと願っています。

茨城大学生生活協同組合理事長
教育学部 教授 大槻 功



学生生活に楽しみを提供する購買部の活動

留学生センター

グローバル化と日本語教育

教授 石橋 玲子

現在、世界中で日本語を学習している外国人の数は、テレビ、ラジオ等での学習者も含めると四〇〇万人とも五〇〇万人とも言われています。

昨今の日本経済の低迷にもかかわらず、海外の日本語学習者は増加の一途をたどっています。日本人と間違えるほど日本語を流暢に使いこなす学習者も増加しています。このような外国人の日本語運用力の向上の一因としては、応用言語学や日本語学の研究が進み、日本語の談話構造が明らかにされ、その知見が教育に生かされてきていることが挙げられます。次の先輩と後輩の会話を読んでみてください。

先輩：今晚カラオケどう？
後輩：今晚ですか。今晚は、ちよっと…
先輩：あ、都合悪い。じゃ今度にするか。

後輩は、誘いを断る言葉を一言も発してはいませんが、断るという意思の疎通は成立しています。なぜでしょう。日本人の会話の談話構造は、英語のように一方が話し終えてから他方が話すのではなく、話し



「日本語」で、パソコンを使用してプレゼンテーションをしている留学生

手と聞き手がお互いに作り上げていく特徴をもっているからです。日本語を母語としている日本人は無意識に日本語を習得しているために日本語による意思の疎通がどのようになっているかを意識することはありません。しかし、日本語学習者が増加し、日本語が日本人だけの言語でなくなりつつある現在、母語話者である日本人も、伝達の手段という観点から日本語を意識し、見直す時代にきているといえるのではないのでしょうか。



高校の学習科目は、大学でどのように専門・深化しているのでしょうか。専門の先生の案内で大学で学ぶことの楽しさを、ほんの少し味わってみましょう。

リズムと言葉

助教授 川嶋 秀之

小学一年生のころ百人一首に出会って、普段の言葉とは異なるリズムの美しさを持つ言葉があるということに気づきました。

阿倍仲麻呂の「あまの原ふりさければ春日なるみかさの山にいでし月かも」のおおらかな味わいなど、五七調・七五調と呼ばれる伝統的リズムが大変快く身体や心に染み込んできて、何度も舌頭に転がして味わいました。

曾禰好忠の「由良の門を渡る船人かちを絶えゆくへも知らぬ恋のみちかな」にも、舟と心のゆらゆらとたゆとうような感じがなんと絶妙にリズム化されていることでしょうか。思えばこのころに私の日本語のリズム感は体得されたようです。

小学校の高学年になりますと、もうちよっと俗になり、「知らざあ言つてきかせやしょう」「かわいそうだよスポンのおなら、右と左になき別れ」など、歌舞伎のせりふや都々逸を口にして面白がっていました。

言葉の大切な働き、それは考えたことや感じたことを意味として伝えることです。

しかし、言葉のもつリズムや響き

教育学部 国語教育講座

の美しさは、時に意味以上の何かを語りかけてくるようです。

北原白秋に「薔薇ノ木ニ薔薇ノ花咲クナニゴトノ不思議ナケレド」という詩があります。これは、ほとんど何も意味を表していません。

しかし五七のリズムに乗せてこのように表現されると、「不思議ナケレド」と言っているにもかかわらず、不思議な奥深い何かを感じた気持ちになります。これは、リズムと響きの究極の作品といえるのではないのでしょうか。



何の不思議もなく咲くバラの美しさ

仙人になった気分で
数学を楽しもう！

助教 大塚富美子

大学の数学が社会に出て直接役立つなんていうことは、まずないと思います。それは事実でしょう。大学の数学どころか、高校で教わる級数や微積分、更には中学校で教わる2次方程式ですら、使ったことがないという大人の人は多いかもしれません。でも、そんなことを言えば、どの学問分野だって多かれ少なかれ同じなのではありませんか？あなたも数学を楽しんでみませんか？ちよっぴり世界が広がること請け合いです。

数学の楽しみ方は、音楽を楽しんだり、絵画を眺めたり、読書に没頭するのは、またちよっと違った刺激をあなたに与えてくれることでしょう。

例えば、マイナス掛けるマイナスがプラスになるのはなぜかとか、分数の割り算は、なぜ逆数を掛けることと同じなのか？ということを得るのいくまで議論してみると言うのは、とても面白いことですし、自分が何をどう理解しているのかを見つめるチャンスになります。物事を突き詰めて、じっくり考えることの出来る人は数学に向いています。(こ

の問題のときは、負の数・分数とは何を表すのか、掛け算・割り算とはどういう演算なのかをじっくり考えてみると答えが見えてきますよ。)

大学の数学では、高校時代とは違って、もう少し専門的な概念を、きっちり考えることから、勉強がスタートします。例えば、数列が収束するとはどういうことなのか、関数が連続であるとはどういうことなのかと言う具合に。連続性を見つめることによって、一様連続・リプシッツ連続・ヘルダー連続なんていろいろな連続性が現れてくるのです。あなたも、仙人になった気分、俗世を離れて、数学の世界に遊んでみませんか！



大塚先生と仙人・仙女になって数学を楽しむ学生

数学

2時限目

特集・大学の時間割

大学で数学を学ぶからには

講師 岡 裕和

工学部における「数学」は、簡単に言うと、それぞれの学科で学ぶ専門教育のための下準備(工学基礎)と言ったところである。

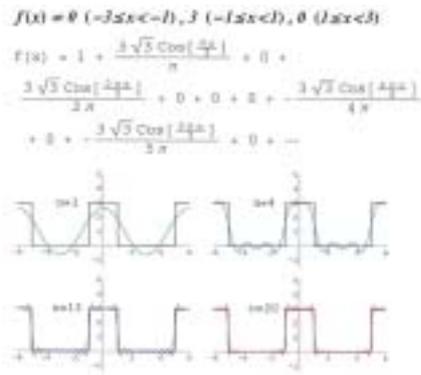
科目としては、高校数学の延長線上にある「微積分」を土台として、「数学解析Ⅰ」、「複素解析、フーリエ解析」、「応用数学Ⅰ」、「微分方程式、ラプラス変換」が日立キャンパスで開講されている。これらは、大部分において計算力が要求されるもので、慣れが必要である。少し違った方向で、「線形代数Ⅰ」、「水戸キャンパスで開講されている。計算力も要求されるが、高校数学と違って、抽象的な概念が入り込んでくる。このため、この部分はかなり敬遠されがちであるが、抽象化することによって物事の本質がみえてくるので、十分に慣れる必要がある。

大学の数学を学習するプロセスで挫折する学生が多くみられる。高校の数学に比べて内容が難しくなるのは確かだが、理解できない一番の理由は、勉強の仕方に関する問題があるようだ。

受験勉強の延長(?)のせいか、学生諸君をみていると、なぜそうなるのかという

プロセスを抜きにして、問題の解き方とか公式などを覚えておいて、それを当てはめるのが数学の勉強だと捉えているような気がしてならない。

数学は(数学だけに限ったことではないが)、本来、ゆっくりじっくり考える、ねばりづよく考える訓練をしないと身につかないものであり、またこのことはそれぞれの学科での専門科目を学ぶときにも必要なことである。試験前だけ(ひたすら丸暗記的な?)勉強して理解できるようになるはずがない。是非とも、時間をかけて学ぶ習慣をつけていただきたい。



農学部 応用生命科学大講座

科学の発展と生命倫理

教授 高村 義親

生命・人権・自由を抑圧し、威嚇し、恐怖や不安で支配し、貧困、飢餓、疾病に人々を苦しめるさまざまな敵 社会の体制、伝染病、飢餓、旱魃・冷害、洪水など 人類は戦い、科学は発展してきた。

パストールは、炭疽病、狂犬病から人々の生命を救った。科学肥料や農薬は多くの人々を飢餓から解放した。ペニシリンなどの抗生物質は、多くの人命を疾病から救ってきた。

しかし、科学には、例えば核兵器開発のように、生命倫理に反する科学が存在する。原爆や、ベトナム戦争の枯葉作戦で、今なお被害に苦しんでいる多くの人がいる。米本土では、何者かが炭疽菌をばらまき人々を恐怖と不安におとしつけている。化学肥料に由来する硝酸態窒素や農薬・化学物質に由来する環境ホルモン物質による野生動物と人間の健康への影響が、深刻な問題になっている。

私達は、あらゆる科学には生命倫理と相容れない負の側面のあることを絶えず認識しなくてはならない。近年のゲノム解析とポストゲノムの研究で急速に発展している生命科学についても同様である。



「ルイ・パストールの肖像画」
(パリ オルセー博物館所蔵 2001年9月24日長南茂撮影)

生物は、三十五億年前に地球に誕生し、種が種を育むようにして現在の生物界を作り出した。種の壁を分単位で乗り越えることによる遺伝子操作技術を用いて生命体を操作する生命科学は、他の科学領域以上に生命に対する尊厳、人権、自由平和、さらに生物多様性の保全に一層厳格でなくてはならない。

倫理・社会
3時限目

高校の学習科目は、大学でどのように専門・深化しているのでしょうか。専門の先生の案内で大学で学ぶことの楽しさを、ほんの少し味わってみましょう。

「技術と倫理」への問いに向けて

教授 片山洋之介

「技術は人間の道具であって、それ自体は善くも悪くもない。技術と倫理は無関係である」という意見について考えてみましょう。そうすっきりと割り切れるかどうか。

受験テクニックという言葉に示されているように、技術は「与えられた問題にどう答えるか」に関わりません。専門的・自立的に研究するようになれば、同じ現象が問い方によってさまざまな姿を顕わすことに気づき、「どう問題を立てるか」を自分で考えねばならなくなります。しかしこの場合、問いかけと応答は往復運動だといべきでしょう。技術は何かの問いに応答するものではあるのですが、技術の進展の中から、新たな問いが生まれます。

近代西洋における科学技術の発展は、科学と宗教の分離、自然支配の意志といった精神と結びついていました。幕末の日本において、圧倒的な技術をもつ西洋諸国の脅威に直面したとき、佐久間象山は、「東洋道徳、西洋芸術」と言いました。東洋の伝統的な倫理を守りつつ、西洋の先進的な技術を積極的に取り入れようとしたわけです。明治においても、「和

人文学部 人文学科

魂洋才」という発想のもと富国強兵が打ち出され、日本は西洋とならぶ強国となりました。

敗戦 復興 経済大国 景気後退を経て現在、「科学技術立国」が標榜されています。人間の道具であった技術は、現代では人間をも支配する巨大な装置となりました。グローバルな技術がもたらし、要請しているものとは何か。その意義を問う中で、「技術と倫理」の問題が浮かび上がってくると思います。



現代の私たちに安らぎを与えてくれるのは、「技術によって整備された自然」です。

人文学部人文学科

心の専門家を目指して

助教授 黒田 浩司
(臨床心理士)

人文学部人文学科心理学専攻では、臨床心理士の資格を目指して大学院に進学する学生が多い。大学院を修了して、近隣の臨床現場で活躍されている専門家も多い。学部授業でも臨床心理学の基礎的な講義(臨床心理学、人格心理学演習、人格心理学特講)を開講しており、その中で精神分析理論や心理検査、近年の子ども・青少年の心理的な問題について学生は学んでいる。諸外国の臨床心理士は国家資格になっていることが多く、その養成・訓練プログラムが確立している。しかし、日本ではまだ資格制度も臨床心理士養成システムも発展途上である。

臨床心理士やカウンセラーというのは、一般の人には「傷ついた人、悩んだ人の心を癒してあげる専門家」という認識が強い。しかし、臨床心理士は、ただの心優しい人ではつまらない。

その悩んでいる人(クライエント)の悩みや心理的問題を多面的に理解・分析するための膨大な知識と経験、効果的な援助・介入に関する実践的土台(実習や現場での経験を介しての学習)、そして自己分析の体

験)が必須である。時には自分自身の問題や課題が明らかとなり、自己と深く向き合うことも余儀なくされる。しかし、この仕事は常に新しい学びがあり、いろいろなクライエントとかわる中新しい発見と出会いがあることが魅力でもある。

なお、臨床心理士の資格を取得するための指定大学院制度の実施にともない、残念ながら人文学部の大学院を修了しても臨床心理士資格は修得できなかった。心理学専攻生も教育学部学校臨床専攻(指定校に申請中)や他大大学院を目指して日々学んでいる。



真剣に心について学ぶ学生たち

教育学部 保健体育教育系 健康スポーツ・野外水辺

「どうして大学に体育の授業があるの...!？」

助教授 富樫 泰一

「どうして大学に体育の授業があるの...?」。私は、大学生になったとき、正直言って驚きました。「健全な肉体に健全な精神が宿る」。人間の営みは健康な体と心の維持で成り立ちます。そのための「体育」です。

茨城大学水戸キャンパスは、東には太平洋、北には那珂川・久慈川、南には涸沼・霞ヶ浦・北浦と豊富な水辺に囲まれています。これらの環境は、人文地理的(流域の文化的特徴・歴史・川・海にちなんだ祭り・水運の歴史など)、経済的(観光資源としての那珂川・久慈川・湖沼・海岸線など)、地質的(茨城の大地の歴史・川のなりたち・流域地質の特徴など)、生物的(川の生態・めずらしい動植物・指標生物など)にも重要です。多彩な水辺環境を生かした「体育・健康スポーツ・野外水辺」の授業は、他の大学には見られない特色をもっています。

具体的には、カヌーで那珂川を下り、涸沼でウインドサーフィン・ヨットを楽しむ、プールではスキューバダイビングの練習をします。活動の場は全て大自然の中。安全に

対する万全な備えが必要です。野外に出る前に、各種目の基礎理論・基本技術・レスキュー技術・気象学等を学びます。

五月下旬の週末、那珂川カヌーツアーを行います。栃木県烏山から茨城県御前山にかけて那珂川一帯は、関東の嵐山といわれるほど風光明媚。カヌー初心者でも安心して下れます。

シーズンの週末には、一日に数千人が下るカヌーのメッカです。川幅が狭く蛇行しているところは流れも速く渦巻きが発生し、皆必死の形相でパドルを握りしめます。川幅が広くゆったりと流れるところでは、水鳥たちのさえずりについとうとうとそうになりまます。無事下り終えた学生たちは、安堵感と達成感で満たされ、皆一回りたくましく成長したように見えます。



楽しい那珂川でのカヌーツアー

保健体育
4時限目

特集・大学の時間割

人文学部社会科学科

農業経済論ゼミ

私達のゼミ、農業経済論は、農業の枠だけにとらわれず、環境等をテーマに河野直哉先生を囲んで研究を行っています。

みなさんは循環型社会という言葉を知っていますか。現在の私達の生活は、大量生産・大量消費という言葉で言い表せると思います。そのような生活は確かに便利です。

しかし、私達は目先のものだけを見て安心して良いのでしょうか。そのようなことを文献講読討論、時には飲み会を通して教えてくれ、考えさせてくれるのが、私達のゼミです。それらの問題は決してすぐに回答が出せるものではありません。

では実際に、どのような人達がゼミを受けているかそれは、秘密です。自分の目でぜひ確かめてください。



研究室で先生の愛のチェック



みんなでVを狙っていこう

当研究室では、牛やひつじなど草を主食とする反芻動物のルーメン（第一胃）に関する研究に取り組んでいます。反芻動物が餌をより有効に利用できるように、個体レベルから遺伝子レベルに至るまで幅広い研究分野の解明をテーマとしています。具体的には、次のような分野に現在挑戦しています。

- ・ルーメン細菌の遺伝子・タンパク・酵素機能解析
 - ・ラン藻類の飼料成分の機能性の評価
 - ・培養細胞による飼料成分の機能性の評価
 - ・反芻動物におけるメタン生成の抑制について
 - ・シバの成長性に関する研究
 - ・飼料稲の栄養特性に関する研究
- すばらしくアットホームな研究室です。興味のある方は、ぜひ遊びに来てください。

修士課程一年一同

農学部生物生産学科

飼料資源科学研究室

教育学部学校教育教員養成課程

人文地理学研究室

私たち人文地理学ゼミは、大学院生を含めてゼミ生十七名、小野寺淳先生を中心に活動しています。ゼミでは歴史・農業・文化・都市・民俗等各自が興味のある分野を「地理学」という切り口から追求しています。それぞれが日本各地、あるいは海外フィールドを持つているため、ゼミ発表では様々な地域の話

を聞くことが出来、教室にいながら時代や地域を越え、旅行気分を味わうことが出来ます。昨年はゼミ生で沖縄へ野外調査に出かけ、現地の様々な人と話をする中で、多くのことを学ぶことが出来ました。

研究がやや夜型で朝に弱いゼミですが、研究以外のイベントも交えながら「アットホームながらまじめに」をモットーに毎日充実した日々を送っています。



首里城の前でみんなニッコリ



研究室には海外のお客さんも

私たち坂田研究室は、主に原子核を対象とした物理を研究しています。

この分野は、私たちの実際の生活でいえば原子力と関わってきます。さらに人間にとつてまだ未知の原子核の発見や、原子核よりもさらに小さな物質(中間子、クォーク)の生成にも深く関係しています。

他にも原子核物理にみられる非線形性や確率過程なども研究しています。

この研究室には、海外からの留学生も所属しています。昨年は、北京での原子核物理の国際会議にも参加しました。

このように海外との交流もたいへん盛んな研究室です。

<http://www.sci.ibaraki.ac.jp/sakata/>

博士課程 関 暁之

理学部 数理科学科

坂田文彦研究室

工学部 情報工学科

加納幹雄研究室

大学教授と友達になる！そんな普通あり得ない話があり得てしまうのがこの研究室です。うちの研究室では親睦を深める場として毎月一回定例の飲み会を開いています？そこでは教授と学生、先輩と後輩という枠を超えて熱い語り合いが展開されます。もちろん遊んでいるばかりではありません。加納教授の専攻である離散数学や遺伝アルゴリズム、また最近では暗号理論についての研究が真剣になされています。今年の四年生の卒業研究の一つで、研究室のホームページにグラフ理論ゲームを作りました。ぜひ一度試して下さい。

<http://gorogoro.cis.ibaraki.ac.jp>
四年生 初沢 正博



パソコンを前に先生の熱のこもったレクチャー

人文学部コミュニケーション学科

杉下ゼミ

私が所属する国際協力論のゼミは、新聞社出身、ジャーナリストとして活躍する経歴を持つ杉下恒夫教授のもとで学んでいます。

国際協力のあり方について、毎回、日本経済や国際問題などの最新の時事問題を取上げ、理論面と実践面から学んでいます。平成一三年夏には、フィリピンのセブ島に研修旅行に行き、そこでの人々の暮らしや日本のODA活動の実態などを見学、ストリートチルドレンたちに文字を教えるなどの体験をしました。実際に目の当たりにする貧富の差や環境問題などは想像以上に深刻で衝撃的でした。

このように、私達は実際に自分の目で見るという経験を重ね、現場から考える力を身に付けながら国際協力への更なる理解へ向けて楽しく学んでいます。

人文学部コミュニケーション学科
三年 額賀 裕美



セブ島でのフィンガーサイン?!

教育学部 保健体育

日下裕弘研究室

昨年末、約半年間かけて行った、子どもとの自然遊び、異年齢の仲間と思いつき楽しく遊ぼう」という体験活動が終わりました。最終日には、これまで参加してきた子ども達が、「まだまだやりたい」、「来年も絶対参加する」と笑顔で話しかけてくれました。半年前は、自分の名前を大きな声で言うことができなかった子ども達が、今ではもう少し小さな声で話すことはできないものかと私達の頭を悩ます存在になっっています。

私達の研究の場はドアの外にあり、自然の中にあります。自然の中を思いっきり「体感」して、子ども達の「生きる力」の育成をテーマに活動を続けています。

日下研究室は、共通教育棟の一階にあります。みなさんもぜひ研究室に遊びに来て下さい。また、研究室が母体となっており、茨城大学、子どもの遊び研究会「や」子ども遊びのボランティアへの参加もお待ちしております。

遊び研究員 木谷 晋平



別れがづらい子供たちと一緒に

工学部都市システム工学科

防災・環境地盤工学研究室

当研究室では、地盤工学における防災・環境・新素材開発の研究をしています。

地盤とは、私達が踏みしめている「地面」のことです。普段、地面について気にして歩いている人は、ほとんどいないでしょう。

しかし、本当は、地震や地盤沈下等の災害、土壌汚染等の環境問題等で、私達の生活に大きな影響を与えています。現在の生活を単に豊かにするのはなく、困っている人々を救うことや将来の問題を解決する研究にウエイトがかかっています。

私達の研究室は、自分の研究が社会に対してどう貢献できるか、ひいては、私達自身が社会に対して何ができるのかを、一人ひとりの研究を通じて考えさせてくれる研究室です。

修士一年 梅野 寿康



ゼミ旅行で研究生が勢揃い



(的)

農学部一直線
マイ阿見キャンパスロード

取材・構成：茨城大学学生新聞部

ぜひ、茨城大学農学部へ。
このチャートであなたにぴったりの学科をご紹介します。

YESまたはA

NOまたはB

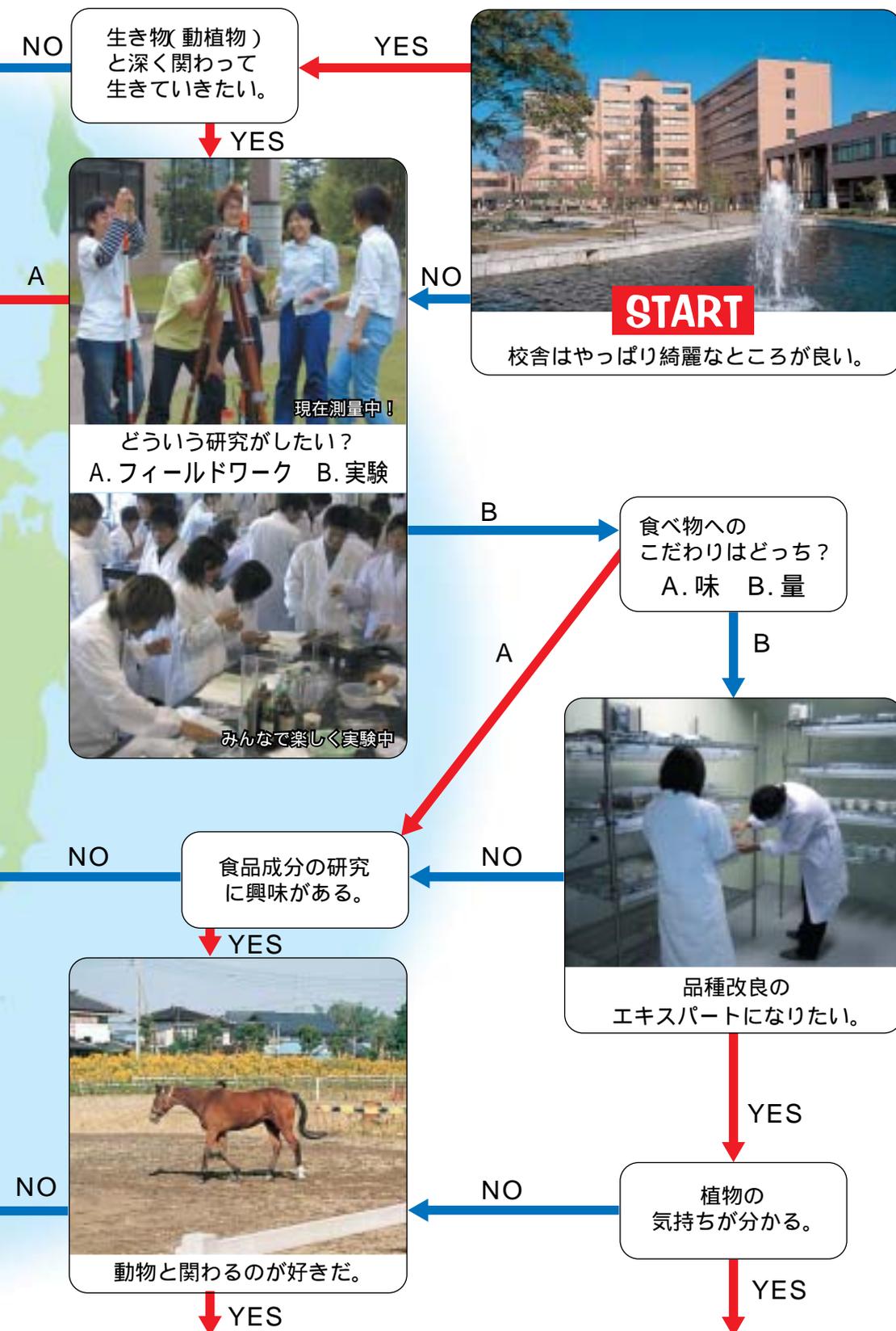
農学部DATA

場所：茨城県稲敷郡
阿見町中央町 3-21-1
学科：生物生産科学科
資源生物科学科
地域環境科学科
在学者数：586
(H13.5/1 現在)

バイオテクノロジー - や生物資源の開発技術と再利用技術を駆使して、人口増加による食料問題や機械文明・物質文明によってひき起こされた環境問題に取り組むことを目指している。広大な敷地と1994年に改築された綺麗な校舎で教師陣・学生が一丸となって問題に取り組みながら学ぶことができる。



農学部ならではの畜舎！



生物生産科学科 動物生産科学

動物の行動、動物の病気・免疫、繁殖・育種、畜産物の有効利用、反芻家畜の発酵、栄養生理学についての教育研究を行う。

21世紀を迎えた今、世界人口の爆発的な増加が懸念されている。このことから、畜産物もしくは家畜の生産を増やすことが非常に重要になってきている。しかし、地球的な環境の破壊と汚染に動物生産が加担しているのも事実。したがって、地球環境の保全と調和した持続型生産体系を目指していく。

生物生産科学科 植物生産科学

バイオテクノロジーを用いつつ、生産技術開発や食糧の増産と質の向上を目指し、有用植物資源の探索・改良や組換え植物の創生・開発、並びにそれらの栽培管理に関する植物資源制御学分野の教育開発を行っている。

果実、野菜、資源植物など、生態学でいう「生産者」から、動物や微生物などの「消費者」や「分解者」までを取り扱う教育・研究分野。農業だけでなく環境、食料、健康など各界で活躍できる人材の育成を目指している。

地域環境科学科 地域環境工学

工業的手法で環境と調和した食糧生産基盤の開発、地域生活環境の改善・保全を目指す。また、水の動きや土の物理学的特性などについての研究する。

測量や物理、数学などを多用して工学的な側面から地域環境を捉えていく。リサイクル環境、土・水環境の保全・修復などについて地球環境規模の技術、自然環境について学ぶことができる。

地域環境科学科 緑環境システム科学

社会科学と情報科学の成果を駆使して地域農業、農村社会システムの構築、地域活性化の手法などに取り組んでいく。IS(地理情報システム)やIT(情報技術)の基礎にも精通できる。

情報・経済を主に学ぶ。プログラミングやC言語などについても勉強。目的をはっきりと定めた実用的な最新の技術を身につけることができる。地域環境情報システムに関する研究が様々な視点、技術で行える。

人文学・理学・工学・教育学

あなたには、人文学・工学・理学・教育学への道をおすすめします。

茨城大学のことをしっかりと調べていくうちに、農学部以外でもあなたにピッタリの学部・学科が見つかり、効果的・魅力的な勉強・研究ができることでしょう。

茨城大学はあなたの将来の夢・希望に限りない力が提供できるようになっています。

工学・物理的な技術で環境問題に取り組みたい。

NO

どの視点で環境に取り組みたい？
A. メディア B. 自然

A

YES



情報処理を使って新しい環境技術を磨きたい

NO

土壌・水質・肥料などに興味がある。

YES

資源生物科学科 農業化学生態学

土壌と生物をめぐる複雑な生態系を化学物質を見るミクロな視点、地球生態環境を見るグローバルな視点の両方から解析し、21世紀の農業の持続的展開と地球環境の保全を目指す。

地球規模の自然災害は、農地生態系に様々な影響を及ぼしている。このような農地生態系の変化を理解するために、生物間相互作用を化学的に解析していく。

B

どちらの科目に興味がある？
A. 理科 B. 社会

A

地球環境を守りたいという強い意志がある！

YES

NO



設備の素晴らしい遺伝子実験施設



美味しいお米になりますように...

どちらの科目に興味がある？
A. 生物 B. 化学

A



遺伝子に興味がある

YES

資源生物科学科 応用生命科学

生物化学、分子遺伝学、微生物学などの生命科学の基礎的学問と育種学、遺伝子工学、タンパク質工学、細胞工学、食品分子機能学などのバイオテクノロジー関連の応用領域を学ぶ。

新しい時代に対応できる先駆的な専門性とそれを人間社会に活かす応用性を身につけた人材を養成する。将来は生物工学、生物資源開発、医薬品・食品開発などの分野で活躍できる。

茨城大学からのお知らせ

文化、スポーツ、芸術に 平成十三年度も茨大生が大活躍

音楽関係 鈴木範之さん(教育・二年)が、平成十三年十月八日、日本クラシック音楽協会主催日本クラシック音楽コンクールピアノ部門・大学生の部東北地区本選にて好演賞(第3位)受賞
アナウンス関係 薪塩宏さん(人文・四年)が、関東大学放送コンテスト二〇〇一アナウンス部門最優秀賞を受賞。受賞作品は「バリアフリーキャンパスへの挑戦」。

バリアフリーキャンパスについては、茨大ニューズレター「大きな百合の木の下で」第一号をご覧下さい。

ポスター関係 高貝慶隆さん(理工学研究科博士後期一年)が、国際分析化学会議(ICA S2001)における「Analytical Sciences賞」及び日本分析化学会における「英文ポスター賞」の二大会連続受賞を達成。

スポーツ・柔道

風間美佳さん(教育・一年)が、トレート国際柔道大会(イタリア)五二Kg級で三位、福岡国際女子選手権五二Kg級で三位、全日本学生女手柔道体重別選手権大会では優勝の快挙。
第五〇回関東甲信越大学体育大会では、畔田有希子(教育・一年)さんが、女子柔道五七Kg級で優勝。



剣道 剣道部・男子が、第五〇回関東

甲信越大学体育大会の団体戦で優勝。個人戦では、小岸潤さん(教育・二年)が優勝。

第二回関東女子学生剣道新人戦大会では川上悠紀さん(教育・一年)、渡辺彩里さん(教育・一年)、井野江里子さん(教育・一年)、落合智代さん(教育・一年)が、準優勝。



水泳

水泳部 水泳部・女子が、第五〇回関東甲信越大学体育大会において、団体優勝と二〇〇m・四〇〇mリレー、四〇〇mメドレーリレーで優勝。水泳部・男子は、四〇〇mメドレーリレーで優勝。



水泳の個人競技では、第五〇回関東甲信越大学体育大会において、伊藤瑠美さん(工学部・三年)が、女子五〇〇m・一〇〇m平泳ぎで、佐藤加奈子さん(教育・三年)が女子一〇〇m、四〇〇m自由形で、鎌田依利さん(教育・二年)が女子二〇〇m個人メドレーで、藤田早紀さん(教育・二年)が女子二〇〇m自由形でそれぞれ優勝。男子では、鈴木佐紀人さん(農学・一年)が一〇〇m、二〇〇m背泳ぎで優勝。

陸上競技

第五〇回関東甲信越大学体育大会で、佐藤由さん(教育・二年)

が、やり投げで優勝。松崎尚子さん(教育・四年)は、女子一〇〇mで優勝。第一六回全国公立二大対抗陸上競技大会では、杉崎弘周さん(教育学研究科・二年)が男子二〇〇mで、鈴木奈美さん(教育・四年)が女子円盤投げで、それぞれ優勝。第三十回関東学生陸上競技対抗選手権大会では、高村理恵子さん(教育・三年)が女子ハンマー投げで準優勝。

準軟式野球部 第二十三回関東地区大学・社会人準軟式野球王座決定戦で準優勝。

オリンピック関係 黒滝大翼さん(農学・三年)は、日本オリンピック・アカデミー(JOA)の推薦を受け、日本からただ一人の学生代表として、第四回オリンピック・アカデミー・セッション(マレーシア)に参加しオリンピック運動の推進と啓蒙活動を行いました。

ホームページデザインコンテスト 優秀賞は、寺島寛さん



左から白石PR委員長、寺島君、宮田学長、小村事務局長、石垣専門部会長

茨城大学PR委員会・ホームページ専門部会では、十月に茨城大学ホームページのデザインを募集し、コンテストを開催しました。

審査の結果、人文学部二年 寺島寛さんの応募作品が優秀賞に選ばれ、一月二十三日に表彰式が行なわれました。現在、大学のホームページを優秀賞のデザインにする作業が進行中です。新しいホームページのデザインをお楽しみに。

ホームページ・アドレスは、

<http://www.ibaraki.ac.jp>

編集後記

例年一月から三月、大学は受験シーズンの真っ只中。一月十九・二十日、水戸キャンパスにおいても大学入試センターの試験が実施され、多くの受験生が熱心に試験問題に取り組みました。

平成十四年度の茨城大学への志願者は八四五〇名、募集人員は一一九八名で六・〇倍の競争倍率になっています。

四月、茨城大学は、希望に胸をふくらませた新入生で溢れます。勉学に、スポーツに、サークル活動に打ち込み、実り多い学生生活となるように、大学は万全の体制を整えて新入生を待っています。

今回の特集では、学生生活のサポート体制をご紹介します。大きな希望と安心感を持って茨城大学で楽しい学生生活を。

